

## 平成24年度第1回国体ユニフォーム検討委員会議事録（概要）

日時：平成24年9月3日（月）16：00～18：00

場所：滋賀県立スポーツ会館2階会議室

出席者：増田委員長、三輪副委員長、寺田委員、西田委員、  
奥村委員、中西委員、事務局（藤本副主幹、桂本副主幹）

欠席者：青山委員、橋本顧問

### 概 要

#### （2）ユニフォーム新調に至る経緯について

※特に質問はなし。

#### （3）国体ユニフォーム検討に係るなぐれについて

※特に質問はなし。

#### （4）国体ユニフォームの基本的な考え方、機能面、デザイン面、価格面について

Q.色遣いは何色でも良いか。

→何色という特に決まりはありませんが、コスト面に関わってくることでありうかと思  
います。

Q.選手はキャップにして、監督はハットにすればどうか。

→帽子については、選手の立場からキャップが良いと思うが、本部役員はブレザーを着  
ているのでハットの方が良いと思われる。別々にすることも検討します。

#### （5）国体ユニフォーム下絵デザインについて

※奥村委員から十数点にわたるデザインが提示され、委員が様々な観点から意見を述べた。  
最終的に、この中から3点程度の下絵デザインを決定することとした。

以下、決定事項および委員の意向を列記します。

##### 機能面について

- ・帽子は、本部役員はハット、監督・選手はキャップとする。デザイン・色は、メーカーに依頼する。
- ・脇の下にはメッシュを入れ、通気性を良くする。
- ・上着のポケットはファスナーとする。
- ・ズボンの脱着のため、下部のファスナーをつける。脚の長短は、サイズ対応かズボン  
ひもかウエスト部の折り返しで対応する。

##### デザイン面について

- ・びわ湖ブルーと白で統一した色遣いとする。
- ・斜めの配色デザイン、横の配色デザインはふさわしくない。
- ・シンプルなデザインとし、ブルー、白、エメラルドグリーンを基調とする。

- ・背中にマザーレイクか毛筆漢字で滋賀をいれる。
- ・帽子、胸、ズボンの右太ももにマザーレイク、キャプチャーを配置や数などを考慮し、入れる。
- ・ユニフォームが2種類になるおそれがあることから、脱着式の袖にはしない。

#### **試作品について**

- ・現行のユニフォームは、他県に類似したものがないので、マイナーチェンジなるものを1点の試作品をメーカーに依頼する。
- ・新たなデザインとして、別紙の下絵を候補とし、1点の試作品をメーカーに依頼する。
- ・他府県から見た“滋賀らしさ”という観点から、コンセプトなしで1点の試作品をメーカーに依頼する。